



DEUTSCHLERNEN MIT NAVIGATOR

YOICHI YAMAMOTO

山本洋一

SANSHUSHA

LEKTION 1

(eins)

彼はだれ？ 仕事は何をしているの？

— 疑問文とさまざまな主語（人称代名詞） —



Hallo, Monika.
Wer ist das?



Das ist Richard.
Er ist Taxifahrer.

Ist er fleißig?

Ja, er ist fleißig.



まず基本的な疑問文とそれに対する応答文で、主語となる**人称代名詞**と英語の *be* 動詞にあたる **sein** という非常に重要な動詞の変化形を学びます。疑問文には、疑問詞が必要なものとそうでないものがありますが、それぞれの文構造と答え方の違いにも注目してみましょう。



▶16

Navi 1a

Wer ist das?

こちらはだれですか？

Das ist Thomas.

こちらはトーマスです。

前の課に登場した人物たちについて、「こちら（この方）はだれですか？」と質問します。「だれ？」とたずねるには、英語の *who* にあたる疑問代名詞 **wer** を使います。文構造は英語の *Who is he?* と同じでとても簡単です。主語 **das** は人や物事を指し示す**指示代名詞**と呼ばれるもので、状況に応じて「これ、それ、あれ」などの意味で使うことができる非常に便利なことばです。また、**ist** は動詞 **sein** の変化形のひとつで、英語の *is* にあたります。

Who is he ?

He is Thomas .

Wer ist das ?

Das ist Thomas .

英語の文型と
比較してみましょう。

▶17

*DIALOG 3

A: Wer ist das?

B: Das ist Emil. Emil Weber.

A: Und ... wer ist das?

B: Das ist Monika Braun.



▶18

Navi 1b

Was ist er von Beruf?

彼は仕事は何ですか？

Er ist Lehrer.

教師です。

今度は **er** (彼の) 職業をたずねます。疑問代名詞 **was** は英語の *what* に相当します。**Was ist er?** をそのまま訳せば「彼は何ですか？」となります。これだけでも職業や身分をたずねることはできますが、ここでは質問の意図をより明確に示すために **von Beruf** が加えられています。

What is he ?

He is a teacher .

Was ist er ?

Er ist Lehrer .

ドイツ語では職業や身分を表す場合は無冠詞。



▶18

Navi 1c

Was sind Sie von Beruf?

あなたはお仕事は何ですか？

Ich bin Arzt.

私は医者です。

主語を変えて「あなた」についてたずねます。主語「あなたは」を表す代名詞 **Sie** は、文中でも常に大文字で書き出します。小文字書きの **sie** とは別なので注意しましょう。また「あなたは」と質問されたら答えは **ich** (私は) ですが、こちらは逆に英語の *I* のように大文字書きはしません。主語が変わって動詞のかたちも **sind** や **bin** に変化している点にも注意してください。

What are you ?

I am a doctor .

Was sind Sie von Beruf?

Ich bin Arzt .



▶19

*DIALOG 4

A: Entschuldigung, wer ist das?

B: Das ist Angela Mayer.

A: Ach so. Was ist sie von Beruf?

B: Sie ist Lehrerin.

A: Und wer sind Sie?

B: Ich bin Martin Weiß.

A: Was sind Sie von Beruf?

B: Ich bin Schriftsteller.



Entschuldigung すみません
ach so ああそうですか
Schriftsteller 作家

相手に名前をたずねるときは一般的には別な表現 [→ Navi 2g] を使いますが、初対面の人に突然「あなたはだれ？」などと質問するのはいづれにしても失礼で、実際の会話ではあまり考えられません。ここでは主語を変えた文型の練習とってください。

Übung 11 ページの人物について、名前と職業をまわりの人と質問し合ってみましょう。

A: Wer ist das?

B: Das ist ().

A: Ach so. Was ist er von Beruf?

B: Er ist ().

A: Und wer ist das?

B: Das ist ().

A: Was ist sie von Beruf?

B: Sie ist ().



▶20

Navi 1d

Bist du Koch?

きみはコックさんのの？

Ja, ich bin Koch.

はい、ぼくはコックです。

今度は疑問詞を使わない疑問文です。新たに登場する主語は **du** (きみは) です。初対面の相手や目上の人などに対して使われる **Sie** とは異なり、**du** は親しい相手 (家族や友人など) に対して用います。また **bist** と変化した動詞が、この疑問文では文頭に置かれている **動詞 (変化形) + 主語 + ~?** ということ、そして答えが **ja** (はい) か **nein** (いいえ) で始まることも重要なポイントです。

Are you a cook? Yes, I am a cook.
Bist du Koch? Ja, ich bin Koch.



▶20

Navi 1e

Seid ihr müde?

きみたちは疲れているかい？

Nein, wir sind nicht so müde.

いいや、そうでもないよ。

ここまでいくつかの主語を用いながら、「だれだれは～です」という表現を中心に学んできましたが、「～です」のところは人名や職業名だけでなく様態などを表す形容詞でもかまいません。主語 **ihr** (きみたちは) は **du** の複数形ですから、応答文の主語は **wir** (私たちは) です。さらに動詞 **sein** の変化形は、それぞれ **seid** と **sind** です。

müde 疲れた **nicht** ~でない (否定語) **nicht so** ~それほど~でない

Are you tired? No, we are not so tired.
Seid ihr müde? Nein, wir sind nicht so müde.



▶20

Navi 1f

Sind Fritz und Klara fleißig?

フリッツとクララは勤勉ですか？

Ja, sie sind sehr fleißig.

はい、彼らはとても勤勉です。

疑問文の主語が Fritz と Klara の二人なので、応答文では人称代名詞 **sie** (彼らは: 3人称複数) となります。動詞 **sein** の変化形はともに **sind** で、**wir** (私たちは) や **Sie** (あなたは、あなたたちは) が主語のときと同じです。ちなみに、女性名詞を代名詞におきかえるときも **sie** でしたが、これは見た目は同じでも「彼女は (3人称単数)」なので注意してください。

fleißig 勤勉な **sehr** 非常に、とても

Are Fritz and Klara dilligent ?

Sind Fritz und Klara fleißig ?

Yes, they are very dilligent .

Ja, sie sind sehr fleißig .

 発音チェックポイント 05

語末の g は、ng という組み合わせでは「ング」と発音される以外は、基本的には k と同音と説明 (→ 01-1、02-6) しましたが、ここでさらに、語末にある ig は「イヒ」と読むというきまりも新たに加えておきましょう。



▶21

* **DIALOG 5** A: Hallo, Hans. Bist du Koch?

B: Ja, ich bin Koch.

A: Und Michael, bist du auch Koch?

C: Nein, ich bin Architekt. Emil, was bist du denn von Beruf?

A: Ich bin noch Student.

denn いったい (疑問文の中で)
noch まだ、いまだに

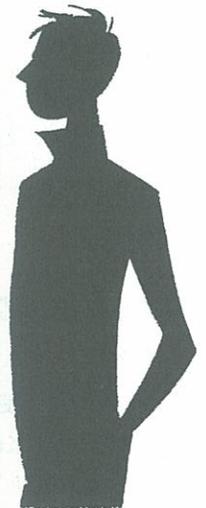
Übung あなたにもドイツ語の名前を

シルエットはあなたです。これまでに登場した名前や、すでに知っているドイツ人名などを組み合わせて、自分に仮のドイツ人名をつけてみましょう。さらに職業も設定し、枠の中にそれぞれ書き入れてください。それらが決まったら、近くの人とペアになって相手の名前と職業を質問合いましょう。



Name:

Beruf:



Grammatik 1

(1) 主語となる人称代名詞

英語の *I, you, he, she* などと同様、ドイツ語にも主語として用いられる代名詞が 10 個あります。人称や単数・複数の違いを区別するこれらの代名詞のことを**人称代名詞**といいます。

主語	単数	複数
1 人称 (自分自身)	ich 私は	wir 私たちは
2 人称 (話し相手)	du きみは Sie あなたは	ihr きみたちは Sie あなたたちは
3 人称 (第 3 者) * 人、物事ともに	er 彼は sie 彼女は es それは	彼らは sie 彼女らは それらは

3 人称単数主語 **es** と 2 人称複数主語 (敬称) **Sie** は、これまではまだ登場していません。



2 人称主語には **du**, **ihr** (親称) と単数複数同形の **Sie** (敬称) があります。前者は家族、親族、親しい友人、だいたい 15, 6 歳以下の子供などに対して、後者は初対面の相手や目上の人などに対して用いますが、公の場面では **Sie** を使うのが一般的です。ところで、主語となる人称代名詞には「ズィー」と発音するものが、この **Sie** (あなたは、あなたたちは) の他に、3 人称単数主語 **sie** (彼女は) と 3 人称複数主語 **sie** (彼らは etc) があります。まったく同音の上に、文頭に置かれればかたちの上でも判別できません。動詞の変化形や前後の内容に注意しながら、どの「ズィー」かを判断する必要があります。

(2) 主語による動詞 sein の変化 (現在人称変化)

第 1 課では、英語の *be* 動詞にあたる **sein** という動詞を学んでいますが、実際の文中ではすべて変化形でした。*be* 動詞が *I am, you are, he is, she is ...* と主語によってかたちが変わるように、ドイツ語の動詞 **sein** も主語の人称や単数複数の違いによって変化 (**人称変化**) します。

主語	単数	sein	複数	sein
1 人称	ich	bin	wir	sind
2 人称	du Sie	bist sind	ihr Sie	seid sind
3 人称	er sie es	ist	sie	sind



▶ 22

(3) 疑問文の構造

疑問文には、疑問詞を使うものと使わないものがあります。

① 疑問詞を使う疑問文 : 補足疑問文

補足疑問文は基本的に疑問詞で始まり、次が動詞、そのあとに主語やその他残りの文成分などが配置されます。

Das ist **Karl**.



Wer ist das?

Er ist **Lehrer**.



Was ist er?



疑問詞自体が主語の場合は「疑問詞(主語) + 動詞 ~?」となります。

Wer ist da?

だれがそこにいるの?

② 疑問詞を使わない疑問文: 決定疑問文

決定疑問文は動詞で始まり、次が主語、そのあとにその他残りの文成分などが配置されますが、主語と動詞の順番が入れ換わるだけです。

Er **ist** Lehrer.



Ist er Lehrer?



決定疑問文は、sein 以外の動詞が用いられた場合でも、主語と動詞の順番を入れ換えるだけです。また、補足疑問文、決定疑問文ともに、英語の do や does にあたるものは必要ありません。[→ Navi 2a]



(4) 決定疑問文に対する答え方

▶22

① 決定疑問文の答えは「はい」か「いいえ」

Ist er Lehrer?

Ja, er ist Lehrer.

Nein, er ist Student.

nicht を使った否定文: 否定語 nicht は、基本的には否定したいものの前に置きます。

Sind Sie müde?

Ja, ich bin müde.

Nein, ich bin **nicht** müde.

② 否定疑問文とその答え

決定疑問文に否定語が含まれる場合は、doch か nein で答えます。

Sind Sie **nicht** müde?

あなたは疲れていないのですか?

Doch, ich bin müde.

いいえそんなことはありません、疲れています。

Nein, ich bin **nicht** müde.

はいそのとおり、疲れてはいません。



「疲れているの?」とたずねられようが「疲れていないの?」とたずねられようが、「nicht müde 疲れていない」のであれば答えは常に nein です。日本語に引きずられないよう注意しましょう。

📖 ナンバープレース (SUDOKU) で頭の体操

はじめにナンバープレースを解いておきましょう。数字はもちろんドイツ語で考えてください。次にアルファベットが書き込まれたマス目の数字をとなりの人などに Was ist „A“? と質問してみましょう。答え方は „A“ ist ○○. です。正しい数字をはっきりと答えましょう。

5	3		B	7				C
6	A		1	9	5			
	9	8					6	
8				6				3
4			8		3		F	1
7	D			2	E			6
	6			H		2	8	
			4	1	9		I	5
		G		8			7	9

